

プログラム

【第1会場】

9:00~9:15 開会挨拶・会長講演

第3回国際臨床医学会学術集会 会長

田村 純人 (東京大学医学部附属病院 国際診療部長)

9:20~10:00 モーニングセッション ~国際診療の広がり~

座長: 中村 安秀 (甲南女子大学 看護リハビリテーション学部 教授)

飯塚 陽子 (東京大学医学部附属病院 糖尿病・代謝内科)

1. シンガポールの教育機関において学生や職員が海外渡航する際に受けるメディカルサポートと最近の傾向

野村 亜希子 (International SOS Pte Ltd/シンガポール共和国)

2. 糖尿病における医療の国際化に向けた取り組み

飯塚 陽子 (東京大学医学部附属病院 糖尿病・代謝内科)

3. 災害時における国際医療部門の役割

シェーン ピーター (北海道大学病院 国際医療部)

10:10~10:40 特別企画

外国人観光客に対する快適な医療の確保に向けた提言

座長: 澤 芳樹 (大阪大学大学院医学系研究科 外科学講座 心臓血管外科学 教授)

演者: 白見 はなこ (参議院議員)

10:45~11:30 特別講演

日本医療の国際展開と国立国際医療研究センターの役割

座長: 寺野 彰 (学校法人獨協学園 理事長)

演者: 國土 典宏 (国立国際医療研究センター 理事長)

11:40~12:35 ランチョンセミナー

グローバルスタンダードからみて望ましい日本の医療通訳を考える

座長: 吉川 健一 (株式会社ブリックス 代表取締役社長)

ファシリテーター: 山田 紀子 (ピー・ジェイ・エル株式会社 代表取締役社長)

パネリスト: 南谷 かおり (大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部 国際医療センター 特任教授 副センター長)

楊 承淑 (輔仁大学 跨文化研究所 教授兼所長)

Izabel E. T. de V. Souza, M.Ed, CMI-Sp, Ph.D. (Dr. Souza Consulting)

医療通訳事業者団体

共催: 株式会社ブリックス

第3回国際臨床医学会学術集会

12:45~14:05 パネルディスカッション2

国立大学病院の国際化の取り組み ~各大学の特徴を生かして~

オーガナイザー/座長: 寶金 清博 (北海道大学病院 病院長)

座長: 伊藤 正明 (三重大学医学部附属病院 病院長)

演者およびパネリスト: 「大阪大学医学部附属病院における国際化」

南谷 かおり (大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部 国際医療センター)

「海外医療人の受け入れについて」

シェーン ピーター (北海道大学病院 国際医療部)

「国際化における遠隔医療教育の有用性」

清水 周次 (九州大学病院 国際医療部 教授)

14:10~14:55 特別講演

日本の医療の国際化

演者：黒川 清（特定非営利活動法人日本医療政策機構 代表理事）

座長：田村 純人（東京大学医学部附属病院 国際医療部 部長）

15:05~15:20 総会

15:25~16:25 MEJコラボセッション2

医療の国際展開を見据えたインバウンドの重要性

演者：山本 修三（一般社団法人Medical Excellence JAPAN 理事長）

共催：一般社団法人Medical Excellence JAPAN
第3回国際臨床医学会学術集会

16:40~18:10 オープン・フォーラム（市民公開講座）

世界を舞台に保健の仕事をしてよう！

座長：三好 知明（国立国際医療研究センター）

演者：「WHOの役割と求められる人材」

Eric Tagnon（WHO西太平洋事務局）

「国連職員の一日」

矢島 綾（WHO西太平洋事務局 テクニカル・オフィサー）

「グローバルヘルス人材戦略センターの機能」

地引 英理子（国立国際医療研究センター グローバルヘルス人材戦略センター 人材情報解析官）

「ローカルからグローバルへ」

厚生労働省

主催：グローバルヘルス人材戦略センター
共催：第3回国際臨床医学会学術集会

18:10~18:20 閉会挨拶

【第2会場】

9:20~10:40 パネルディスカッション1

医療通訳者の認証制度 ～マイナー言語について考える～

オーガナイザー／座長：南谷 かおり（大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部 国際医療センター）

座長、演者およびパネリスト：「地域中核病院における医療通訳さんの重要性」

井田 健（(前)公立甲賀病院顧問、甲賀看護専門学校）

演者およびパネリスト：「医療通訳との連携、通訳同士の連携」

山田 紀子（ピー・ジェイ・エル株式会社）

「マイナー言語の通訳者の抱えている問題」

岩本 弥生（特定非営利活動法人多言語社会リソースかながわ）

「医療通訳とは文化通訳！ 在日ベトナム人として日本で医療に携わり感じたこと」

荘 秀英子（りんくう総合医療センター 救命救急センターICU）

12:45~14:05 パネルディスカッション3

外国患者診療と保険制度 ～社会の安心と現場の納得～

オーガナイザー／座長：山田 秀 臣（東京大学医学部附属病院 国際診療部）

演者およびパネリスト：「初診対応時に把握される問題」

堀 成 美（国立国際医療研究センター 国際診療部）

パネリスト：大 磯 義一郎（浜松医科大学 法学 教授）

永 松 聡一郎（厚生労働省医政局総務課 医療国際展開推進室）

北 野 選 也（一般社団法人 Medical Excellence JAPAN）

沢 田 貴 志（港町診療所）

14:10~15:10 MEJコラボセッション1

国際的診療連携の実現に向けて ～円滑な連携に必要な課題を明らかにする～

オーガナイザー：北 野 選 也（一般社団法人 Medical Excellence JAPAN 業務執行理事）

1. 国際診療連携構築に向けたMEJの取組み ～JIH連携送出し医療機関（仮称）認証～

演者：北 野 選 也（一般社団法人 Medical Excellence JAPAN 業務執行理事）

2. 受入側JIH推奨病院の立場から見る円滑な国際診療連携の課題

演者およびパネリスト：中 田 研（大阪大学医学部附属病院 国際医療センター センター長）

3. 送出し医療機関の立場から考える国際診療連携の課題解決

演者およびパネリスト：郝 德 明（中国非公立医療機構協会 会長／中国）

4. ディスカッション

共催：一般社団法人 Medical Excellence JAPAN

第3回国際臨床医学会学術集会

15:25~16:13 イブニングセッション ～国際診療の深化～ 〈セッション1「国際交流」〉

座長：上 里 彰 仁（東京医科歯科大学医学部附属病院 国際医療部）

田 畑 知 沙（大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部 国際医療センター）

1. 医学部生の国際共同医学研究参画 ～日本・ハンガリーのツインリサーチ骨粗鬆症共同研究への取り組み～

佐 伯 壮一郎

（大阪大学医学部医学科、大阪大学大学院医学系研究科国際・未来医療学講座、大阪大学大学院医学系研究科スポーツ医学講座）

2. インバウンドにおける外国人看護人材の育成と支援の課題

廣 瀬 園 子（大阪大学大学院医学系研究科 公衆衛生学教室、株式会社 Medi Legato）

3. ミャンマーへの腎移植医療情報提供の報告

池 田 成 江（北里大学病院）

4. ラオス人民民主共和国での医療経験

遠 藤 俊 治（八尾市立病院 外科）

5. タイ・コンケン病院と提携した外傷外科研修プログラム～現状と課題

益 田 充（日本赤十字社和歌山医療センター）

6. サンタクルス病院における日伯共同研究及び協力プロジェクト

西 国 幸四郎（サンタクルス病院／ブラジル連邦共和国）

16:18~17:06 イブニングセッション ～国際診療の深化～ 〈セッション2「医療通訳」〉

座長：南 谷 かおり（大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部 国際医療センター）

押 味 貴 之（国際医療福祉大学医学部 医学教育統括センター）

1. ベトナム語医療通訳の現状と通訳者確保のための一考察

連 利 博（霧島市立医師会医療センター、遠隔医療通訳サービス Medi-Way）

2. 病院スタッフとしての医療通訳者の役割

北 間 砂 織（北海道大学 薬学部）

3. 医療通訳者の業務と報酬の関係に対する意識調査 — AiMIS登録通訳者へのインタビューから —
横井 みどり (あいち医療通訳システム)
4. 医療の国際化を見据えた臨床における語学・倫理教育の必要性
森 つばさ (医療財団法人康生会 武田病院)
5. 異文化医療及びシステムによる日本医療ツーリズムにおける医療通訳の実態?
藤上 理奈 (一般社団法人 日本医療通訳士会)
6. 医療通訳制度に実効性を持たせるための提言
藤井 ゆき子 (一般社団法人 通訳品質評議会)

17:11~17:59 **イブニングセッション** ~国際診療の深化~ 〈セッション3「国際診療・看護」〉

座長：沢田 貴志 (港町診療所)
山田 秀臣 (東京大学医学部附属病院 国際診療部)

1. 不法滞在で身元不明の外国人患者の未払金対応事例
戸田 はるか (東京ベイ・浦安市川医療センター 国際診療支援室)
2. 不法滞在で麻薬を処方し帰国した外国人患者の対応事例
野口 さとみ (東京ベイ・浦安市川医療センター 国際診療支援室)
3. 母国まで搬送せざるを得なかった外国人患者
浅香 朋美 (成田赤十字病院 国際診療科)
4. 北海道東部の過疎地における外国人診療の実態
藤城 貴教 (清水赤十字病院 内科)
5. 当院で経験した症例から考える医療の国際化の課題
相良 理香子 (九州大学病院 国際医療部国際診療支援センター)
6. 現場的外国人対応と医療システムの国際標準実現について
石井 健 (虎の門病院 集中治療科・品質管理室)

ポスター

- P-1 書籍「東大病院発医療スタッフのための英会話」の企画・編集に参加して
本田 祐子 (東京大学医学部附属病院)
- P-2 世界保健機関(WHO)本部でのインターンシップ派遣報告と、インターン後のキャリア形成における課題と展望
廣瀬 園子 (大阪大学大学院医学系研究科)
- P-3 東京大学医学部附属病院における外国医療者の研修受入傾向について (平成26年度~平成29年度)
五十嵐 千恵 (東京大学医学部附属病院)
- P-4 北海道大学病院における海外医師を対象とした教育活動
シェーン ピーター (北海道大学病院)
- P-5 ロシアから見た日本への医療ツーリズムの魅力と課題
Ulianova Svetlana (東京大学医学部附属病院)
- P-6 日本における外国人患者の変遷と現状の課題について
山田 秀臣 (東京大学医学部附属病院)
- P-7 外国人患者受入れコーディネーターの役割と定義についての考察
山田 秀臣 (東京大学医学部附属病院)
- P-8 ロシアに於ける脳死下臓器提供・移植の現状と日露協力の可能性
Ulianova Svetlana (東京大学医学部附属病院)